

令和 6 年度

授業シラバス・
年間指導計画

英語

(1 年)

令和6年度 岡山県立倉敷天城高等学校 普通科・理数科1年 シラバス

教科名	科目名（校内名称）	単位数	教 材
英語	英語コミュニケーションⅠ （ST 英コミュ）	3	教科書：ELEMENT English Communication I [啓林館] 副教材：総合英語 Vision Quest 3rd Edition [啓林館]

学習のねらい	外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、以下の5つの領域において言語活動及びこれらを結び付けた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり、適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を養う。 ① 外国語の4技能について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付ける。外国語の学習を通して、言語の働きや役割などを理解できるようにする。（知識・技能） ② 場所・目的・状況などに応じて、日常的・社会的な話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりできるようにする。（思考力・判断力・表現力） ③ 他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり、読んだりしたことを活用して自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとする。（主体性）
--------	--

授業形態 アドバイス など	STコースの授業です。1年生では、英語の基礎を徹底的に学習します。予習・授業・復習という学習スタイルを早く確立することが大切です。予習で「分かる」と「分からない」ことの見極めをつけ、「分からない」ことは授業で解決させること。授業で「分かった」ことを復習で定着させて、しっかり身に付けることが大切です。
---------------------	--

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の基本的な考え方	外国語の4技能について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。外国語の学習を通して、言語の働きや役割などを理解している。	場所・目的・状況などに応じて、日常的・社会的な話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。	他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり、読んだりしたことを活用して自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。
育てたい生徒像（資質・能力）との関連	教養力：幅広い教養と課題発見・解決のための知識・技能	思考力：論理的に考え、批判的に掘り下げ、創造する力 表現力：思考・判断の結果や経過をわかりやすく伝える力	協働力：多様な他者とコミュニケーションをとり協力する力 省察力：自らの行動を振り返り改善し前に踏み出す力
主な評価方法	○定期考査 ○課題考査 ○小テスト ○授業・発表内容の観察 ○授業ノート・提出課題の点検	○定期考査 ○課題考査 ○小テスト ○授業・発表内容の観察 ○授業ノート・提出課題の点検	○授業・発表態度の観察 ○プレゼンテーションの観察 ○提出課題の点検

学期	学習内容	学習の到達目標		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
通期	L1 International Relationship	強弱のリズム・イントネーションを聞き取る。 Scidmore's Cherry Trees を読み、概要をとることができる。	本文の内容について、自分の理解していることを英語で伝え合うことができる。 相手の持っている情報を自分の理解に取り込むことができる。	「桜」について、自分の知っていることを英文に書いて説明することができる。
	L2 Love Beyond Species	つながりやすい音・変化しやすい音を聞き取る。 ペットを友人に預ける際の注意点を聞き取る。 Christian the Lion を読み、概要を理解する。 段落の構造を理解する。 本文の内容を段落ごと1文で表現できる。	ペットとして飼われたライオンの物語を読み、その内容について、リテリングを行う。	Christian the Lion のストーリーレポートを書く。
	L3 Contributing to Our Planet	消える音・弱くなる音、短縮形を聞き取る。 使い捨てのビニール袋とエコバッグのメリット・デメリットを聞き取る。	Bye Bye Plastics 読み、概要を理解する。 段落の構造を理解する。 本文の内容を段落ごと1文で表現できる。	アメリカからの交換留学生に、ボランティアに参加するように誘うメールを書く。
	L4 Message for World Peace	博物館を訪れた生徒に先生がしている諸注意を聞き取る。 Twice Bombed, Twice Survived を読み、登場人物の心情を理解する。 段落の構造を理解する。 本文の内容を段落ごと1文で表現できる。	二重被爆についての物語を読み、その内容についてリテリングを行う。	平和とは何かについて自分の生活を捉えながら書く。
	L5 Respecting Each Other	身近な人や物について話している会話を聞き取る。 Nobody's Perfect を読み、登場人物の心情をおさえ、概要を理解する。 段落の構造を理解する。 本文の内容を段落ごと1文で表現できる。	野球の投手と誤審をした審判についての物語を読み、その内容についてリテリングを行う。 イラストを見て、状況を説明する。	困難な状況にある友人を元気づける電子メールを書く。
	L6 Language and Culture	ラジオニュースを聞き取る。 The Power of Words を読み、概要を理解する。 段落の構造を理解する。 本文の内容を段落ごと1文で表現できる	作家のスピーチを読み、その内容についてリテリングを行う。 好きなアニメや漫画、映画について発表する。	日本文化が楽しめる場所を例示しながら説明する文章を書く
	FRCP Pictures Without Shadows	モードルイスについての関連レポートを聞き、概要を理解する。 モードルイスについてのエッセイを読み、概要を理解するとともに、メッセージをくみ取る。	国際ボランティアの案内を読み、必要な情報を読み取り、どのボランティアにするかを話し合う。	国際ボランティアへの参加フォームに必要事項を記入する。

	L7 Technologies and Discoveries	科学イベントの内容とスケジュールを聞き取る。 Serendipityを読み、その概要を理解する。 段落の構造を理解する。 本文の内容を段落ごと一文で表現できる。	偶然の発見による発明についての英文を読み、その内容について、リテリングを行う。	電子書籍より紙の書籍を好む理由を対比しながら書く。
	L8 Standing Up for Human Rights	人権を守る試みについての会話を聞き取る。 Playing the Enemy を読み、登場人物の心情をおさえ、概要を理解する。 段落の構造を理解する。 本文の内容を段落ごと一文で表現できる。	ネルソン・マンデラとラグビーについての物語を読み、その内容についてリテリングを行う。	Playing the Enemyで人権に関する状況がどのように変わったかを時系列に沿って書く。
	CP Application Form	アパートの広告を読み、必要な情報を聞き取る。	ウェブサイトの情報と親の希望をもとに、アパートを借りる際の条件について話し合い、アパートを決める。	アパートの見学の申し込みフォームに必要事項を記入する。
備考				

令和6年度 岡山県立倉敷天城高等学校 普通科・理数科1年 シラバス

教科名	科目名（校内名称）	単位数	教材
英語	英語コミュニケーションⅠ (U英コミュ)	3	教科書: ELEMENT English Communication I [啓林館] 副教材: 総合英語 Vision Quest 3rd Edition [啓林館]

学習のねらい	外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、以下の5つの領域において言語活動及びこれらを結び付けた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり、適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を養う。 ① 外国語の4技能について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付ける。外国語の学習を通して、言語の働きや役割などを理解できるようにする。(知識・技能) ② 場所・目的・状況などに応じて、日常的・社会的な話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりできるようにする。(思考力・判断力・表現力) ③ 他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり、読んだりしたことを活用して自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとする。(主体性)
--------	--

授業形態 アドバイス など	STコースの授業です。1年生では、英語の基礎を徹底的に学習します。予習・授業・復習という学習スタイルを早く確立することが大切です。予習で「分かる」ことと「分からない」ことの見極めをつけ、「分からない」ことは授業で解決させること。授業で「分かった」ことを復習で定着させて、しっかり身に付けることが大切です。
---------------------	---

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の基本的な考え方	外国語の4技能について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。外国語の学習を通して、言語の働きや役割などを理解している。	場所・目的・状況などに応じて、日常的・社会的な話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。	他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり、読んだりしたことを活用して自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。
育てたい生徒像 (資質・能力) との関連	教養力: 幅広い教養と課題発見・解決のための知識・技能	思考力: 論理的に考え、批判的に掘り下げ、創造する力 表現力: 思考・判断の結果や経過をわかりやすく伝える力	協働力: 多様な他者とコミュニケーションをとり協力する力 省察力: 自らの行動を振り返り改善し前に踏み出す力
主な評価方法	○定期考査 ○課題考査 ○小テスト ○授業・発表内容の観察 ○授業ノート・提出課題の点検	○定期考査 ○課題考査 ○小テスト ○授業・発表内容の観察 ○授業ノート・提出課題の点検	○授業・発表態度の観察 ○プレゼンテーションの観察 ○提出課題の点検

学期	学習内容	学習の到達目標		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
通期	L1 International Relationship	強弱のリズム・イントネーションを聞き取る。 Scidmore's Cherry Trees を読み、概要をとることができる。	本文の内容について、自分の理解していることを英語で伝え合うことができる。 相手の持っている情報を自分の理解に取り込むことができる。 本文の内容について、自分の理解していることを英語で発表することができる	「桜」について、自分の知っていることを英文に書いて説明することができる。
	L2 Love Beyond Species	つながりやすい音・変化しやすい音を聞き取る。 ペットを友人に預ける際の注意点を聞き取る。 Christian the Lion を読み、概要を理解する。 段落の構造を理解する。 本文の内容を段落ごと1文で表現できる。	ペットとして飼われたライオンの物語を読み、その内容について、リテリングを行う。 ペットを飼いたい子供と反対する親という設定でロールプレイを行う。	Christian the Lion のストーリーレポートを書く。
	L3 Contributing to Our Planet	消える音・弱くなる音、短縮形を聞き取る。 使い捨てのビニール袋とエコバッグのメリット・デメリットを聞き取る。	Bye Bye Plastics 読み、概要を理解する。 段落の構造を理解する。 本文の内容を段落ごと1文で表現できる。 身近な環境問題とその解決策について話し合う。	アメリカからの交換留学生に、ボランティアに参加するように誘うメールを書く。
	L4 Message for World Peace	博物館を訪れた生徒に先生がしている諸注意を聞き取る。 Twice Bombed, Twice Survived を読み、登場人物の心情を理解する。 段落の構造を理解する。 本文の内容を段落ごと1文で表現できる。	二重被爆についての物語を読み、その内容についてリテリングを行う。 平和を実現するためには何が必要か、具体的にやりとりすることができる。	平和とは何かについて自分の生活を捉えながら書く。
	L5 Respecting Each Other	身近な人や物について話している会話を聞き取る。 Nobody's Perfect を読み、登場人物の心情をおさえ、概要を理解する。 段落の構造を理解する。 本文の内容を段落ごと1文で表現できる。	野球の投手と誤審をした審判についての物語を読み、その内容についてリテリングを行う。 イラストを見て、状況を説明する。 示された状況に沿って、感謝の気持ちを伝えるとともに、行事に招待する。	困難な状況にある友人を元気づける電子メールを書く。
	L6 Language and Culture	ラジオニュースを聞き取る。 The Power of Words を読み、概要を理解する。 段落の構造を理解する。 本文の内容を段落ごと1文で表現できる	作家のスピーチを読み、その内容についてリテリングを行う。 好きなアニメや漫画、映画について発表する。 相手の話に対して、自分の興味があることを示す。	日本文化が楽しめる場所を例示しながら説明する文章を書く

	FRCP Pictures Without Shadows	モードリスについての関連レポートを聞き、概要を理解する。 モードリスについてのエッセイを読み、概要を理解するとともに、メッセージをくみ取る。	国際ボランティアの案内を読み、必要な情報を読み取り、どのボランティアにするかを話し合う。 国際ボランティアの案内を読み、必要な情報を読み取り、どのボランティアにするかを話し合う。	国際ボランティアへの参加フォームに必要事項を記入する。
	L7 Technologies and Discoveries	科学イベントの内容とスケジュールを聞き取る。 Serendipityを読み、その概要を理解する。 段落の構造を理解する。 本文の内容を段落ごと一文で表現できる。	偶然の発見による発明についての英文を読み、その内容について、リテリングを行う。 歴史上最も偉大な発明は何か、ペア、グループで話し合う。	電子書籍より紙の書籍を好む理由を対比しながら書く。
	L8 Standing Up for Human Rights	人権を守る試みについての会話を聞き取る。 Playing the Enemy を読み、登場人物の心情をおさえ、概要を理解する。 段落の構造を理解する。 本文の内容を段落ごと一文で表現できる。	ネルソン・マンデラとラグビーについての物語を読み、その内容についてリテリングを行う。 ある人物の経歴についてまとめ、互いの情報をやりとりする。	Playing the Enemyで人権に関する状況がどのように変わったかを時系列に沿って書く。
	CP Application Form	アパートの広告を読み、必要な情報を読み取る。	ウェブサイトの情報と親の希望をもとに、アパートを借りる際の条件について話し合い、アパートを決める。	アパートの見学の申し込みフォームに必要事項を記入する。
備考				

令和6年度 岡山県立倉敷天城高等学校 普通科・理数科1年 シラバス

教科名	科目名（校内名称）	単位数	教 材
英語	英語コミュニケーションⅡ （ST 英コミュ）	1	教科書: ELEMENT English Communication I [啓林館] 副教材: 総合英語 Vision Quest 3rd Edition [啓林館]

学習のねらい	外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、「聞くこと」「話すこと（やり取り）」「話すこと（発表）」「書くこと」の5つの領域において言語活動、及びこれらを結び付けた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり、適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を養う。 ① 音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識が、実際に英語を用いた言語活動において活用されるようにする。（知識・技能） ② コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、情報を整理して論理的に英語で表現できるようにする。（思考力・判断力・表現力） ③ 他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり、読んだりしたことを活用して自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現できるようにする。（主体性）
--------	---

授業形態 アドバイス など	ST コースの授業です。1年生では、英語の基礎を徹底的に学習します。予習・授業・復習という学習スタイルを早く確立することが大切です。予習で「分かる」と「分からない」ことの見極めをつけ、「分からない」ことは授業で解決させること。授業で「分かった」ことを復習で定着させて、しっかり身に付けることが大切です。
---------------------	--

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の基本的な考え方	外国語の4技能について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。 外国語の学習を通して、言語の働きや役割などを理解している。	場所・目的・状況などに応じて、日常的・社会的な話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり、適切に伝え合ったりしている。	他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり、読んだりしたことを活用して自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。
育てたい生徒像 （資質・能力） との関連	教養力：幅広い教養と課題発見・解決のための知識・技能	思考力：論理的に考え、批判的に掘り下げ、創造する力 表現力：思考・判断の結果や経過をわかりやすく伝える力	協働力：多様な他者とコミュニケーションをとり協力する力 省察力：自らの行動を振り返り改善し前に踏み出す力
主な評価方法	○定期考査 ○課題考査 ○小テスト ○授業・発表内容の観察 ○授業ノート・提出課題の点検	○定期考査 ○課題考査 ○小テスト ○授業・発表内容の観察 ○授業ノート・提出課題の点検	○授業・発表態度の観察 ○プレゼンテーションの観察 ○提出課題の点検

学期	学習内容	学習の到達目標		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
通期	L1 Cultures Around the World	異なる文化を持つ人同士の会話を聞いて、概要や詳細を聞き取る。 The Culture Map を読んで、概要や詳細を理解し、情報を意見と事実に整理する。 話全体のメッセージを理解することができる。	文化の違いについての説明文を読み、その内容についてリテリングを行う。	日本への海外留学生との異文化交流についてその必要性について書く。
	L2 Power of Words	将来になりたい職業などについての会話を聞き、概要や詳細を聞き取る。 Stay Hungry, Stay Foolish を読んで、概要や詳細を理解し、行間を読む。 話全体のメッセージを理解することができる。	生き方についてのスピーチを読み、その内容についてリテリングを行う。	スピーチを読んで、これまでに心に残った言葉・励みになった言葉について書く。
	L3 Preconception	思い込みについての会話を聞いて、概要や詳細を聞き取る。 How did pink become a "Girl's Color" in America? を読んで、概要や詳細を理解し、情報を意見と事実に分類する。	ジェンダーについての説明文を読み、その内容についてリテリングを行う。	学校行事についてのルールやマナーについて書く。
	FRI The True Story of Bear Behind Winnie the Pooh	小熊と軍人のふれあいを描いた物語を読み、概要や詳細を理解する。	物語の内容をリテリングするとともに、「Winnie the Pooh」の話を読んで、リテリングをする。	教科書の話と Winnie the Pooh の話で共通に述べられているものは何か書く。
備考				

令和6年度 岡山県立倉敷天城高等学校 普通科・理数科1年 シラバス

教科名	科目名（校内名称）	単位数	教 材
英語	英語コミュニケーションⅡ (U英コミュ)	1	教科書: ELEMENT English Communication I [啓林館] 副教材: 総合英語 Vision Quest 3rd Edition [啓林館]

学習のねらい	外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、「聞くこと」「話すこと（やり取り）」「話すこと（発表）」「書くこと」の5つの領域において言語活動、及びこれらを結び付けた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり、適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を養う。 ① 音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識が、実際に英語を用いた言語活動において活用されるようにする。（知識・技能） ② コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、情報を整理して論理的に英語で表現できるようにする。（思考力・判断力・表現力） ③ 他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり、読んだりしたことを活用して自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現できるようにする。（主体性）
--------	---

授業形態 アドバイス など	Uコースの授業です。1年生では、英語の基礎を徹底的に学習します。予習・授業・復習という学習スタイルを早く確立することが大切です。予習で「分かる」と「分からない」ことの見極めをつけ、「分からない」ことは授業で解決させること。授業で「分かった」ことを復習で定着させて、しっかり身に付けることが大切です。
---------------------	--

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の基本的な考え方	外国語の4技能について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。 外国語の学習を通して、言語の働きや役割などを理解している。	場所・目的・状況などに応じて、日常的・社会的な話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり、適切に伝え合ったりしている。	他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり、読んだりしたことを活用して自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。
育てたい生徒像 (資質・能力) との関連	教養力: 幅広い教養と課題発見・解決のための知識・技能	思考力: 論理的に考え、批判的に掘り下げ、創造する力 表現力: 思考・判断の結果や経過をわかりやすく伝える力	協働力: 多様な他者とコミュニケーションをとり協力する力 省察力: 自らの行動を振り返り改善し前に踏み出す力
主な評価方法	○定期考査 ○課題考査 ○小テスト ○授業・発表内容の観察 ○授業ノート・提出課題の点検	○定期考査 ○課題考査 ○小テスト ○授業・発表内容の観察 ○授業ノート・提出課題の点検	○授業・発表態度の観察 ○プレゼンテーションの観察 ○提出課題の点検

学期	学習内容	学習の到達目標		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
通 期	L1 Cultures Around the World	異なる文化を持つ人同士の会話を聞いて、概要や詳細を聞き取る。 The Culture Map を読んで、概要や詳細を理解し、情報を意見と事実に整理する。 話全体のメッセージを理解することができる。	文化の違いについての説明文を読み、その内容についてリテリングを行う。 日本の習慣について質問したり、答えたりする。	日本への海外留学生との異文化交流についてその必要性について書く。
	L2 Power of Words	将来になりたい職業などについての会話を聞き、概要や詳細を聞き取る。 Stay Hungry, Stay Foolish を読んで、概要や詳細を理解し、行間を読む。 話全体のメッセージを理解することができる。	生き方についてのスピーチを読み、その内容についてリテリングを行う。 困っている人や悩んでいる人に英語でよく使用されるフレーズを使って前向きにする。	スピーチを読んで、これまでに心に残った言葉・励みになった言葉について書く。
	L3 Preconception	思い込みについての会話を聞いて、概要や詳細を聞き取る。 How did pink become a “ Girl ’ s Color ” in America? を読んで、概要や詳細を理解し、情報を意見と事実に分類する。	ジェンダーについての説明文を読み、その内容についてリテリングを行う。 ジェンダーに対する先入観について話し合う	学校行事についてのルールやマナーについて書く。
	FRI The True Story of Bear Behind Winnie the Pooh	小熊と軍人のふれあいを描いた物語を読み、概要や詳細を理解する。	物語の内容をリテリングするとともに、「Winnie the Pooh」の話を読んで、リテリングをする。 異なる Winnie the Pooh の話を読んで、自分の話の内容を相手に伝える。	教科書の話と Winnie the Pooh の話で共通に述べられているものは何か書く。
備考				

令和6年度 岡山県立倉敷天城高等学校 普通科・理数科1年 シラバス

教科名	科目名（校内名称）	単位数	教 材
英語	論理・表現Ⅰ（論理・表現ⅠS）	2	Vision Quest English Logic and Expression I Advanced（啓林館） 教科書準拠ワークブック（啓林館）

学習のねらい	「話すこと（やり取り）」「話すこと（発表）」「書くこと」を中心とした統合的な言語活動を通して、コミュニケーションを図るために必要な発信能力を育成するとともに、論理の構成や展開を考察することで、情報や考えなどを論理的に工夫しながら伝える能力を養う。 ①外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解し、外国語の音声、語彙・表現、文法の知識を身に付けている。 ②場面・目的・状況等に応じて、幅広い話題について、情報や考えなどの概要・詳細・意図を外国語での確に理解したり適切に表現したりしている。 ③外国語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解している。
--------	---

授業形態 アドバイス など	1年生では、英語の基礎を徹底的に学習します。予習を必ず実行して「分かる」と「分からない」ことを見極めた状態で授業に出席し、学校で学習した内容はその日のうちにワークブックを用いて復習し、授業で「分かった」ことを定着させるなど、予習・授業・復習という学習スタイルを早く確立することが大切です。わからない箇所は参考書を読みながら確認しましょう。
---------------------	--

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の基本的な考え方	習得すべき知識や観念等を理解している。それらを既有的知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で、概念等として理解したり、技能を習得したりしている。	知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身に付けている。	知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取組の中で、自らの学習を調整しようとしている。
育てたい生徒像（資質・能力）との関連	教養力：幅広い教養と課題発見・解決のための知識・技能	思考力：論理的に考え、批判的に掘り下げ、創造する力 表現力：思考・判断の結果や経過をわかりやすく伝える力	協働力：多様な他者とコミュニケーションをとり協力する力 省察力：自らの行動を振り返り改善し前に踏み出す力
主な評価方法	○定期考査 ○課題考査 ○小テスト ○授業・発表内容の観察 ○授業ノート・提出課題の点検	○定期考査 ○課題考査 ○小テスト ○授業・発表内容の観察 ○授業ノート・提出課題の点検	○授業・発表態度の観察 ○プレゼンテーションの観察 ○提出課題の点検

学期	学習内容	学習の到達目標		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
通 期	L1 文の種類	初対面で行われる自然な会話や学校の習慣を紹介する表現を学ぶ。	相手の発話に適切な応答をすることができる。また、多様な表現を用い、理由を述べることができる。	自分やパートナーのクラブ活動を紹介できる。
	L2 文型と動詞	学校の文化祭に参加する留学生との会話を通して、学校生活で行われる生徒同士のやり取りの表現を学ぶ。	賛成・反対の意思を示したり、聞き取れなかったことや理解できなかったことを聞き直したりすることができる。	文化祭に行く予定について話し合うことができる。
	L3 時制	旅行の計画や予定を尋ねたり伝えたりする表現を学ぶ。	会話の相手を激励したり、励ましたりすることができる。また、計画したり、予定したりいることを伝え合うことができる。	旅行の経験について詳細に話すことができる。
	L4 完了形	趣味や関心のあることについて、その経験を尋ねたり、伝え合ったりする表現を学ぶ。	これまでの経験や初めての経験について、様々な表現を用いて尋ねたり、伝えたりすることができる。	スポーツや音楽の経験について伝え合うことができる。
	L5 助動詞	将来や進路について、自分の意見や考えを伝えたり、相手に尋ねたりする表現を学ぶ。	会話の相手に許可を求めたり、依頼することができる。また、義務や必要性を伝えたり、過去の事柄を回想したり、自省することができる。	将来の夢について伝え合うことができる。
	L6 受動態	日常生活で発話される生徒同士の自然な会話の流れを学び、自分の感情や物事を詳細に表現することができる。	様々な表現を用いて、原因や影響について表現することができる。また、喜びや驚きの感情を表すことができる。	自身の買い物について詳細に伝えることができる。
	L7 不定詞	誕生日会を舞台に繰り上げられる友人同士の自然な会話のやり取りから、感情を表す様々な表現を学ぶ。	感謝・謝罪・弁解する際に頻繁に使用される表現を学び、会話の相手に感情を適切に伝えることができる。	受け取った贈り物について詳細に伝えることができる。
	L8 動名詞	スポーツチームについて発話される会話からチームに誘ったり、見学を勧めたりする表現を学ぶ。	相手を誘ったり、申し出たりする表現を使うことができる。また、相手に物事を適切に推薦することができる。	スポーツをすることの利点について発表することができる。
	L9 分詞	留学生とのやり取りから、メディアを通じたコミュニケーションについて意見を述べたり、情報を加えて詳しく説明する会話を学ぶ。	人や物事について情報を加えて詳しく説明することができる。また、判断の根拠を示す表現を使用して論理的に伝えることができる。	自分自身や自身の性格について発表することができる。
	L10 関係詞	日本や他国の文化や習わしについてのやり取りから、日本特有の言葉や文化、また異文化について紹介したり、その違いについて述べる会話表現を学ぶ。	人や物事、経緯を詳細に説明したり、言い換えや要約することができる。	日本の文化や人たちについて紹介することができる。

学期	学習内容	学習の到達目標		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	L11 比較	フェアトレード(公正取引)について話される会話から、物事を提案したり、相手の発言を称賛する仕方を学ぶ。	提案する表現や称賛する表現を学び、適切な提案と受け答えができる。	国際問題について自分の考えを伝え合うことができる。
	L12 仮定法	日本の社会問題について話されるやり取りから、自分の意見や考えを伝えたり、相手の助言を求める会話を学ぶ。	助言や願望を表す様々な表現を学び、相手や自分の立場に応じた適切な助言を求めたり、伝えたりすることができる。また、願望を表し表現を使い自分の意志や要望を伝えることができる。	日本の社会問題について自分の意見を発表することができる。
備考				

令和6年度 岡山県立倉敷天城高等学校 普通科・理数科1年 シラバス

教科名	科目名（校内名称）	単位数	教材
英語	論理・表現Ⅰ（論理・表現ⅠⅡ）	2	Vision Quest English Logic and Expression I Advanced（啓林館） 教科書準拠ワークブック（啓林館）

学習のねらい	「話すこと（やり取り）」「話すこと（発表）」「書くこと」を中心とした統合的な言語活動を通して、コミュニケーションを図るために必要な発信能力を育成するとともに、論理の構成や展開を考察することで、情報や考えなどを論理的に工夫しながら伝える能力を養う。 ①外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解し、外国語の音声、語彙・表現、文法の知識を身に付けている。 ②場面・目的・状況等に応じて、幅広い話題について、情報や考えなどの概要・詳細・意図を外国語での確に理解したり適切に表現したりしている。 ③外国語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解している。
--------	---

授業形態 アドバイス など	1年生では、英語の基礎を徹底的に学習します。予習を必ず実行して「分かる」と「分からない」ことを見極めた状態で授業に出席し、学校で学習した内容はその日のうちにワークブックを用いて復習し、授業で「分かった」ことを定着させるなど、予習・授業・復習という学習スタイルを早く確立することが大切です。わからない箇所は参考書を読みながら確認しましょう。
---------------------	--

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の基本的な考え方	習得すべき知識や観念等を理解している。それらを既知の知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で、概念等として理解したり、技能を習得したりしている。	知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身に付けている。	知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取組の中で、自らの学習を調整しようとしている。
育てたい生徒像（資質・能力）との関連	教養力：幅広い教養と課題発見・解決のための知識・技能	思考力：論理的に考え、批判的に掘り下げ、創造する力 表現力：思考・判断の結果や経過をわかりやすく伝える力	協働力：多様な他者とコミュニケーションをとり協力する力 省察力：自らの行動を振り返り改善し前に踏み出す力
主な評価方法	○定期考査 ○課題考査 ○小テスト ○授業・発表内容の観察 ○授業ノート・提出課題の点検	○定期考査 ○課題考査 ○小テスト ○授業・発表内容の観察 ○授業ノート・提出課題の点検	○授業・発表態度の観察 ○プレゼンテーションの観察 ○提出課題の点検

学期	学習内容	学習の到達目標		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
通期	L1 文の種類	初対面で行われる自然な会話や学校の習慣を紹介する表現を学ぶ。	相手の発話に適切な応答をすることができる。また、多様な表現を用い、理由を述べるすることができる。	自分やパートナーのクラブ活動を紹介できる。学校のルールや好きな科目について、理由や具体例などを加えて説明できる。
	L2 文型と動詞	学校の文化祭に参加する留学生との会話を通して、学校生活で行われる生徒同士のやり取りの表現を学ぶ。	賛成・反対の意思を示したり、聞き取れなかったことや理解できなかったことを聞き直したりすることができる。	文化祭に行く予定について話し合うことができる。普段の生活や自分の部屋にあるものについて、具体例や情報を挙げて説明することができる。
	L3 時制	旅行の計画や予定を尋ねたり伝えたりする表現を学ぶ。	会話の相手を激励したり、励ましたりすることができる。また、計画したり、予定したりいることを伝え合うことができる。	旅行の経験について詳細に話すことができる。最近週末にしたことや予定していることについて、具体的に詳細を書いて伝えることができる。
	L4 完了形	趣味や関心のあることについて、その経験を尋ねたり、伝え合ったりする表現を学ぶ。	これまでの経験や初めての経験について、様々な表現を用いて尋ねたり、伝えたりすることができる。	スポーツや音楽の経験について伝え合うことができる。行ったことのある場所や初めて何かを経験した時のことについて、考えや気持ち、具体例を挙げて、伝えることができる。
	L5 助動詞	将来や進路について、自分の意見や考えを伝えたり、相手に尋ねたりする表現を学ぶ。	会話の相手に許可を求めたり、依頼することができる。また、義務や必要性を伝えたり、過去の事柄を回想したり、自省することができる。	将来の夢について伝え合うことができる。家のルールや小学生の頃のこと、またいつかしてみたいことについて、自分の主張に情報や考え、気持ちなどを適切な理由や根拠を加えて書いて伝えることができる。
	L6 受動態	日常生活で発話される生徒同士の自然な会話の流れを学び、自分の感情や物事を詳細に表現することができる。	様々な表現を用いて、原因や影響について表現することができる。また、喜びや驚きの感情を表すことができる。	自身の買い物について詳細に伝えることができる。お薦めの小説や最近驚いたことについて、情報や考え、気持ちなどを適切に書いて伝えることができる。
	L7 不定詞	誕生日会を舞台に繰り広げられる友人同士の自然な会話のやり取りから、感情を表す様々な表現を学ぶ。	感謝・謝罪・弁解する際に頻繁に使用される表現を学び、会話の相手に感情を適切に伝えることができる。	受け取った贈り物について詳細に伝えることができる。自分の夢、高校生が日常生活で行うべき大切なこと、日常生活でしないように気を付けていることについて、自分の意見や主張などを適切な理由や根拠と共に書いて伝えることができる。

学期	学習内容	学習の到達目標		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	L8 動名詞	スポーツチームについて話される会話からチームに誘ったり、見学を勧めたりする表現を学ぶ。	相手を誘ったり、申し出たりする表現を使うことができる。また、相手に物事を適切に推薦することができる。	スポーツをすることの利点について発表することができる。得意なスポーツや活動、楽しみにしていることについて、情報や具体的を加えて詳細に書いて説明することができる。
	L9 分詞	留学生とのやり取りから、メディアを通じたコミュニケーションについて意見を述べたり、情報を加えて詳しく説明する会話を学ぶ。	人や物事について情報を加えて詳しく説明することができる。また、判断の根拠を示す表現を使用して論理的に伝えることができる。	自分自身や自身の性格について発表することができる。家族や友人と撮った写真や日本人の一般的な特徴について、具体例や詳細な情報を加えて文章を書いて伝えることができる。
	L10 関係詞	日本や他国の文化や習わしについてのやり取りから、日本特有の言葉や文化、また異文化について紹介したり、その違いについて述べる会話表現を学ぶ。	人や物事、経緯を詳細に説明したり、言い換えや要約することができる。	日本の文化や人たちについて紹介することができる。家族や友だちの紹介や今あなたに必要なもの、どんな国[市、町]に住みたいかについて、論理の展開を工夫しながら詳細に伝えたり、意見や主張の適切な理由や根拠とともに文章を書いて伝えることができる。
	L11 比較	フェアトレード(公正取引)について話される会話から、物事を提案したり、相手の発言を称賛する仕方を学ぶ。	提案する表現や称賛する表現を学び、適切な提案と受け答えができる。	国際問題について自分の考えを伝え合うことができる。本と映画どちらに興味があるか、また最も幸せなときについて、自分の主張の理由や根拠を加えて、詳しく説明することができる。
	L12 仮定法	日本の社会問題について話されるやり取りから、自分の意見や考えを伝えたり、相手の助言を求める会話を学ぶ。	助言や願望を表す様々な表現を学び、相手や自分の立場に応じた適切な助言を求めたり、伝えたりすることができる。また、願望を表し表現を使い自分の意志や要望を伝えることができる。	日本の社会問題について自分の意見を発表することができる。タイムマシンがあったら過去と未来どちらに行きたいか、また自分や家族に望むことについて、意見や主張の理由や根拠を具体的に示して、伝えることができる。
備考				